

◎第43号議案・平日夜間初期救急外来医療に関する事務の委託について

〔質疑〕事務の委託を行うことになった経緯は。

〔答弁〕宮城県地域医療再生計画のなかに、医療施設や医療従事者が仙台市内に集積している一方で、他の地域ではこれらが不足している。仙南二市七町の医療圏内では、初期救急医療体制が整備されておらず、みやぎ県南中核病院などの勤務医の疲弊を招いている。そのことから、柴田郡、角田市、白石市の各医師会の協力を得て、診療所医師による出務型初期救急体制の構築を図ろうということで、仙南夜間初期急患センターが開院することに、その事務の管理等を大河原町に委託することとなった。

〔質疑〕運営費の初期費用の負担はないのか。

〔答弁〕国からの補助に加え、県からの助成もあり、初期負担は求められてはいない。

〔質疑〕運営費が不足した場合の各自自治体の負担割合はあるのか。

〔答弁〕総受診者数から二市七町以外の受診者数を差し引いたうえで、二市七町の住所地の受診者数で按分し、負担することになる。

〔質疑〕初期救急、二次救急の判断や白石市民が「刈田綜合病院に行きたい」などのトラブル発生は考えられないのか。

〔答弁〕刈田綜合病院では、これまでと同様、平日の夜間一次救急医療受診は可能であり、大泉記念病院も同様である。



仙南夜間初期急患センターとは

みやぎ県南中核病院の敷地内に、平成27年3月開院を予定しています。

診療科目は内科のみで、原則高校生以上または16歳以上を対象とし、診療時間は、平日（12月29日から翌年1月3日までを除く。）の午後7時から午後10時までとなります。

予算審査特別委員会

第44号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第3号)及び第45号議案・平成26年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)の計2議案については、定例会2日目(6月11日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・志村新一郎、副委員長・山田裕一)は、6月12日に審査した結果、第44号議案及び第45号議案については、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論されたおもな内容は次のとおりです。

◎第44号議案・平成26年度白石市一般会計補正予算(第3号)

〔質疑〕放射能対策費の大鷹沢に設置される焼却灰仮置場の具体的な場所と面積について説明願いたい。

〔答弁〕設置予定の場所は大鷹沢大町字弓附地区内で、進入路を2.5メートル幅から5メートルに拡幅して、その延長は160メートルとなる。拡幅工事を行うのは、コンクリートボックスなどが5トン近くあり、大型トラックなどの通行のため、進入路の拡幅が必要となる。造成については、

るのか、強度などのメリット面はどうなるのか。

〔答弁〕材質は、ひのきの集積材からコンクリート製に変更する。規格は30センチ×30センチ×厚さ6センチの歩道などに使える大量生産品のブロックを使用する。強度的には、半永久的に使えると考える。

〔質疑〕シルバーハウジングは、高齢者が住んでいる住宅なので、雨に濡れたブロックで安全面は大丈夫なのか。

〔答弁〕コンクリートブロックの上をカラー塗装する。木製ほど雨は流れないので、デッキに勾配を作り、雨水はデッキに通じるスロープに流す予定である。



改修されるシルバーハウジングデッキ